

RI第2820地区

# 水海道ロータリークラブ



2022-23年度 ジェニファー・ジョーンズ RI会長

例会予定 10月26日 大野治夫ガバナー 公式訪問  
11月2日 休会

VOL.60 No. 9 (通算No. 2673)

2022年10月19日(水) 例会プログラム  
点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
公式訪問前クラブ協議会  
外部卓話 常総青年会議所理事長



写真提供者:石塚克己会員

2022-2023年度 会長 古矢 満

幹事 石井 康弘

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3階  
毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3階  
Tel 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876  
Email [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)  
URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

## 10月は地域社会の経済発展・米山月間です

例会報告 VOL.60 No.8 (No.2672) 10月5日(水)曇り (司会 前島 聡委員長)

本例会での主な事項

◎会長あいさつ

◎米山月間卓話

瀬戸隆海地区米山委員

### 誕生祝



《会 員》松崎隆詞会員 武藤康之会員

### 地区大会委嘱状



青木正弘会員  
資格審査委員会

石井康弘会員  
選挙管理委員会

### 諸報告

ロータリーの友委員会 北村英明委員長

ロータリーの友10月号のご紹介

横組み P7～P10 共に生きる 世界への伝言

P11 感謝を支援へ

P12 ロータリー米山記念奨学会資料

P14～P19 「友」10年を振り返る

縦組み P9～P12 この人訪ねて

P20 すごいロータリー男がいたもんだ！

幹事報告 石井康弘幹事

週 報 なし

例会変更 なし

### 理事・役員会報告

1. 忘年会・・・12月17日(土) 詳細は後日
2. サッカー谷和原カップ協賛・・・5万円
3. 11月の例会予定  
11月2日(水) 休会  
11月9日(水) 通常例会  
11月16日(水) 通常例会  
11月23日(水) 法定休会  
11月30日(水) 通常例会

.....承認される.....

10月26日(水) ガバナー公式訪問

10月30日(日) 2820地区 地区大会

## 10月は地域社会の経済発展・米山月間です

### 会長挨拶 古矢 満会長



10月第1例会のご挨拶を申し上げます。

まずもって、先週の例会終了後の製本作業には皆様ご協力頂きましてありがとうございました。

さて今月10月は米山月間です。この月は、米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする月間となっております。

以前私も数回静岡県の米山記念館に行かせていただき、多少の勉強をさせていただきました。

この米山事業につきましては、すぐに結果が出る事業ではなく、長い目で見守る奉仕の精神での事業と考えております。

そこで本日は地区の米山記念奨学会委員の瀬戸会員に米山奨学事業の意義や、目的などのお話を含め、卓話をお願いしておりますので瀬戸会員本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

そして皆様にはこの事業に関し、ご理解を頂きまして、気持ちよくご寄付を頂きたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

今月は通常の例会のほか、10月26日のガバナー公式訪問例会10月30日には2820地区の地区大会がございます。

また、熊谷実行委員長のもとで60周年記念事業の準備も本格的に動きはじめ、事業が目白押しの月となります。

お願いばかりで恐縮ですが、今後とも各事業に際しましてクラブ会員皆様一人でも多くのご参加、そしてさらなるご協力を頂きながら、実りのある60周年の年度を祈念いたしまして、はなはだ簡単ですが会長挨拶とさせていただきます。本日も宜しくお願ひ致します。

### 米山月間に因んで 瀬戸隆海地区米山記念奨学会委員



沢山のご寄付をいただき  
ありがとうございました

2820地区寄付金(2021-2022年度)

普通寄付金 9,141,500円

特別寄付金 32,142,300円

合計 41,283,800円(全国  
12位)

一人当たりの寄付金 22,388円(全国7  
位)

沢山のご寄付をいただき  
ありがとうございました

水海道ロータリークラブ(2021-2022年度)

普通寄付金 245,000円

特別寄付金 1,000,000円

合計 1,245,000円

一人当たりの寄付金 25,937円  
(地区内14位)

公益財団法人  
ロータリー米山記念奨学会  
ロータリー-日本国内全地区合同プロジェクト

ロータリー米山記念奨学会は、**将来母国と日本との懸け橋**となって国際社会で活躍する**優秀**な留学生を奨学することを目的とする。

**優秀とは**

- (1) 学業に対する熱意や優秀性
- (2) 異文化理解
- (3) コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、**将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人**となることが期待される。

#### 米山梅吉(1868~1946)の事

- ・2月4日大和国高取藩の和田氏の三男として東京に誕生
- ・1895年三井銀行に入行
- ・1918年の渡米中、ダラスロータリークラブ(RC)のロータリアンになっていた福島善三次の紹介により、ロータリークラブと出会う。
- ・1920年10月に東京RCを創設し初代会長就任(1921年4月1日RI加盟認証)
- ・1926-27年度RI理事(日本人初)
- ・1928-31年度第70地区(当時)ガバナー

# 10月は地域社会の経済発展・米山月間です

## 事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京R Cが事業構想“**平和日本**”を世界へ  
(日本の友人を増やし平和を実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立



## 日本のロータリアンの夢

はじまりは米山基金

- 1952年に事業構想。“平和日本”を世界へ
- 日本の友人を増やし平和を実践する人材を育てる



なぜ、外国人留学生支援なのか

国際理解と親善への近道

## 国際ロータリーと米山

- 2002 ロータリー研究会のプログラムに
- 2004 RI 理事会で米山記念奨学事業が称賛される
- 2007 ロータリーの多地区合同活動としての手続きを完了
- 2014 国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「ロータリーの学友」に
- 2016 ソウル国際大会で初の分科会開催

## 事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる**人材を育成すること**

成功の鍵は**カウンセラー**

## 米山記念奨学事業の特長

- 日本で学ぶ外国人留学生を支援
- 日本のロータリー独自の事業(日本全国34地区合同プロジェクト)

← これまで128の国・地域

最大の特長

世話クラブ・カウンセラー制度による深い交流

## 米山奨学生の選抜方法

## 指定校になるための条件

- 文科省より認定された学校法人
- 外国人留学生在籍している事
- 学校側が指定校としての受け入れの意思

応募にあたっては、他の奨学金と併せて支給されていない事。

## 2820地区の指定校

茨城大学  
筑波大学  
東京藝術大学(茨城)  
流通経済大学(茨城)  
常盤大学  
筑波学院大学  
県内に大学は15大学

アール情報ビジネス専門学校  
駿河国際経営ビジネス専門学校  
AO国際福祉専門学校  
県内に専門学校は52校

指定校は、毎年見直しがあります。

## 何を以て選考されているのか

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる**人材を育成すること**

↓  
ロータリー奉仕の我々のパートナー

## 選考の方法

- 書類審査(10月15日締め切り)  
大学の指導教授からの推薦  
小論文  
研究テーマと今後の研究成果の方向性
- 面接審査(12月7日・10日)  
協調性 コミュニケーション力  
ロータリーへの理解 日本への関心  
将来の展望

## 2820地区の奨学生

2022学年度 32名(継続6名)

【出身国・地域】  
中国(8) ベトナム(5) インドネシア(3)  
モンゴル(3) マレーシア(3) ネパール(2) 台湾(2)  
オランダ 韓国 コロンビア スリランカ  
バングラディッシュ ミャンマー

男女比率 15:17

指定校別

茨城大学(8) 筑波大学(13) つくば学院大学(3)

流通経済大学(3) 東京藝大(1) 常盤大(1)

アール専門学校(1) AO専門(2)

区分 専門学校(3) 大学学部(11) 大学修士(11) 大学博士(7)

## 世話クラブ・カウンセラーの役割1

【カウンセラーハンドブックP.2, P.13 Q&A】

- 例会への招待と奨学金の支給
- 月一回以上の例会参加(確約事項)
- 奨学金は手渡し



決められた例會日に出席した場合は、代替出席日を決め、そこで奨学金を返してください。

## 世話クラブ・カウンセラーの役割 2

【カウンセラーハンドブックP.3、奨学生ハンドブックP.36】

- 卓話と近隣クラブへの紹介
- 卓話の実施(確約事項)  
⇒例会  
⇒10月の米山月間など
- 近隣クラブでの卓話も、奨学生を通じて米山記念奨学事業への理解を広げる機会となります。

## カウンセラーはパイプ役

【カウンセラーハンドブックP.3】

- 奨学生が世話クラブ会員や、クラブ事務局の方と交流できるようにする
- 留學生支援の意義を他の会員に伝える

カウンセラーに望まれること

- 奨学生に対応する時間を持つ
- 奨学生に対する思いやりを持つ
- 異文化への理解があり、国際交流に関心がある
- カウンセラーの役割を楽しめる

## カウンセラーの工夫例

【カウンセラーハンドブックP.3、P.20 コラム】

- 奨学生の名刺を作り、早く名前と顔を覚えてもらう
- 奨学生がどんな研究・勉強をしているのか、分かりやすく他の会員に伝える
- 奨学生には例会の受付や、ニコニコボックスの担当などを手伝ってもらう

奨学生を知るために、「奨学生は誰か」を毎月読んでください！  
奨学生ハンドブックP.4



## ロータリー精神を伝える

- 奨学生が、奨学期間中に、ロータリーの精神や奉仕活動に対して理解を深めることができるようにしてください
- 奨学生とロータリアンが、交流を通じて信頼関係を築くことによって、国際理解、親善、世界平和に寄与することを伝えてください

## 奨学生との交流・サポート

【カウンセラーハンドブックP.4、P.13 Q&A、P.24~33】

- 例会以外でも交流を  
⇒良きアドバイザー、相談相手として
- 旅行、行楽、観劇、食事などに一緒に行く
- 自宅に招く
- 母国の家族を訪ねる
- 日本料理、正月など日本文化を体験させる
- カウンセラーや会員の職場見学

カウンセラー一線職の方は、有給だった工夫例を御覧してください

※卒業後就業に注意！  
成人奨学生は卒業後の就業先

## 終了後も奨学生との交流を

- 米山奨学事業は、国際奉仕であり人材育成事業
- 将来、日本と母国・世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し平和に寄与する人材を育てる
- 奨学期間終了後も交流を

カウンセラー一線職の方は、「お世話しながったと戻ること」「終了後も交流が断つ工夫」を御覧してください

# 10月は地域社会の経済発展・米山月間です

**奨学生の個人情報保護に関する取り扱い**  
【カウンセラー・ハンドブックP.6、P.29】  
奨学生レポートや卓話、手紙の内容に感動・・・速報や月報、ホームページ、Facebook等SNSに掲載したい！  
必ず本人の了承を得て掲載してください。顔写真や研究内容を含む文章を掲載する時は特に注意してください  
個人情報や顔写真などを掲載した名簿を作りたくない！  
必ず本人の了承を得て作成してください  
クラブの過去年度のHPに学友の個人情報や名簿が掲載されたままになっていませんか？  
削除するか同意を得た情報のみ掲載してください

**【重要】ハラスメントの認識**

➢セクハラ：セクシャルハラスメント

- ・飲んだ席で思わず・・・お酒が入るとどうしても・・・
- ・写真撮影で肩を抱き寄せる、会つとハグをする
- ・懇親会で夜の遅い時間まで引き止める
- ・かわいい、足がきれい等と容姿のみほめる など
- ⇒信頼関係なく奨学生と二人きりにならない
- ⇒お酒を無理に勧めない、酔って奨学生と接しない
- ⇒ロータリアンとして品位ある言動を

**【重要】セクシャルマイノリティ 奨学生への配慮・対応**

➢LGBTQ+(性的少数者)

- ・「男性なのに女性みたいな恰好をしているね」
- ・「その男性！」と性別を決めて呼ぶ
- ・宿泊行事で、希望も聞かないまま男女の部屋割りをする
- ⇒見た目や氏名でジェンダー・セクシャルティを決めつけない
- ⇒呼びかける場合は、共通の敬称(～さん)や性別でない呼び方(例：青い服の人)で呼ぶ
- ⇒本人が希望を伝えることができる機会を設ける
- ⇒配慮・対応への基本的な知識や情報を持つこと。奨学生に寄り添い、一緒に解決していく姿勢を示すことが大切です！

**【重要】ハラスメントの認識**

➢パワハラ：パワーハラスメント

- ・お金を出してやっているのだからという高圧的な接し方は大きく誤解や不信を招きます
- ・国家間の政治問題は、信頼関係ができてから語り合えば一方的な主張になりません
- ⇒信頼関係なく奨学生と二人きりにならない
- ⇒不安や恐怖心を与える言動や状況に注意を
- ⇒ロータリアンとして品位ある言動を

**【重要】ハラスメントの認識**

相手が不快と思ったらハラスメント  
 「そんなつもりはない」は通じません

**RIの方針：Zero Tolerance / 容認なし**

- ⇒相手を尊重し、異文化理解の姿勢
- ⇒何が該当するのか“認識”が防止策
- ⇒日本、そしてロータリーへの理解者を育てる

**【重要】危機管理：震災など**

- 日頃から予防を意識
- 被害を最小限にする
- 発生後の安全管理・不安の解消
- ⇒奨学生の複数の連絡先(携帯、FacebookやLINEなど)を交換しておく
- ⇒学校の避難経路や緊急連絡先を確認
- ⇒日頃から奨学生が相談しやすい関係作り

**【重要】当地区の危機管理手順**

災害・事故・ハラスメントにおける地区方針や、発生から収束までの処理手順を確認してください

これから  
 奨学生のご指導と  
 サポートを  
 お願い致します



## 出席報告 宮代 尚委員

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
53名	44名	9名	0名	26名	100.00%

ニコニコボックス 中山英俊委員長 入金額 64,000円 累計 658,000円

誕生祝御礼《会員》松崎・武藤 各会員 《ご夫人》松坂(興)・雨谷・小林・草間 各会員

この度は、皆様ご心配をおかけします。本日は、瀬戸会員卓話宜しくお祈いします。また早退させて頂くことお許しください。 古矢会員

米山委員瀬戸様、卓話よろしくお祈い致します。 石井会員

瀬戸さん、卓話楽しみにしてます。 石塚(利)会員

10月26日は、ガバナー公式訪問です、全会員そろって大野ガバナーをお迎えしましょう。皆様、何かとお忙しいとは存じますが、ご協力をお願い致します。皆様にとりまして今日が良い日になりますように！

青木(正)会員

皆様米山月間宜しくお祈い致します。 大塚会員

米山月間宜しくお祈いします。 瀬戸会員

瀬戸さん卓話よろしくお祈いします。 田上・五木田 各会員

瀬戸会員、本日の卓話楽しみにしております。 中嶋(利)・中山 各会員

やっと涼しくなりました。 染谷(秀)会員

ようやく涼しくなりました。 青木(英)会員

## 10月は地域社会の経済発展・米山月間です

本日もよろしくお願ひ致します。 草間会員  
本日早退します。 石塚(克)・大堀 各会員  
先週休みました。 青木(清)会員

会報委員会 五木田裕一委員長 古津英二副委員長 青木英男委員

# 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実地的な規準である。

- 1.奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
- 2.奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
- 3.奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
- 4.奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
- 5.奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである(標準ロータリークラブ定款第6条)。